交通対策 特別委員会（9月26日・10月29日・30日）

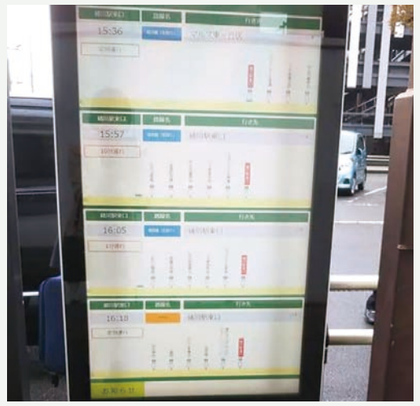
住民の利便性に配慮した公共交通の取り組みを

3年間の試行事業を検討し、新たな事業展開へ

埼玉県三芳町（9月26日）

三芳町では「公共交通プロジェクト」を立ち上げ、公共交通の在り方を検討し、デマンド交通の３年間の試行運転を行った。利用者・不利用者の声や費用対効果などからデマンド交通を廃止して、新たに①高齢者対象のタクシー、民間バスの利用補助②免許返納支援制度の創設③民間の町内循環バスの路線再編などを実施していた。試行運転を通して次の事業につなげている取り組みは大変参考になった。

愛知県東浦町（10月29日）



バスの位置情報をリアルタイムに確認できる「バスロケーションシステム」を導入したバス停に設置されている電光掲示板

東浦町では、民間バス路線の廃止を受け、補助金を得てコミュニティバス「う・ら・ら」を開始した。町民アンケートなどを行い、ダイヤ改正、路線の見直しを行った。また、アプリによる乗り継ぎなどの検索サービスも導入した。通学バスとしての利用とその乗りこぼし対策の「う・ら・ら」タクシーも運行していた。また、小・中学生対象の企画乗車券の発行や未就学児への乗り方教室などの利用促進に向けた取り組みや財源確保など大いに参考になった。

住民ニーズに合わせた複数の交通手段を実施

三重県菰野町（10月30日）

菰野町では、福祉サービス拡充として福祉バスを実施したが、その後、民間バス路線が廃止されたため、駅や基幹病院、福祉センターを経由して南北を結ぶ路線にコミュニティバスを運行し、バス路線と交通不便地域をつなぐオンデマンド交通を実施するという見直しを行った。また、社会福祉協議会に委託している「あいあい自動車」も導入した。現在、出発地から目的地まで、利用者にとっての最適経路を提示するとともに複数の交通手段やその他のサービスを含め、一括して提供するサービス（MaaS）システムの構築および実証を行っている。さまざまなニーズに合わせた複数の交通手段の活用は我が町にも生かせるものと考える。

◎委員長　○副委員長
◎下野　義子　○村上　嘉男
近藤　浩　榎本　義輝
下澤　章夫　香取　幸子　山﨑　栄
古宮　郁夫（議長）　柚木　克也

基地対策 特別委員会（11月6日・7日）

米軍・市民が共同利用できる複合型スポーツ施設が完成

山口県岩国市

福田市長による説明の様子

平成24年基地内に開港した岩国錦帯橋空港は、その後路線増や増便が図られ利用者290万人を達成していた。また、米軍家族と市民が共に利用できる広大な複合型スポーツ施設「愛宕スポーツコンプレックス」が完成した。

これらの事業が順調に進んだ背景には、基地が存在する市として、米軍と市民双方にウィンウィンの結果を残したいという市長の強い思いとそれを後押しする市議会の存在があった。５市１町にまたがる横田基地と、１市単独で存在する岩国基地との違いはあるが、我が町も横田基地とウィンウィンの関係を模索する必要もあると感じた。

◎委員長　○副委員長
◎小川　龍美　○石川　修
森　亘　大坪　国広　小山　典男
原　隆夫　村山　正利　古宮　郁夫（議長）

議員との対話集会 ● ● ●

「みずほ まちなか会議」を開催しました！

－参加いただきました皆様ありがとうございました－

11月16日、武蔵野コミュニティセンターにおいて総務産業建設委員会が、同日長岡コミュニティセンターにおいて厚生文教委員会が、「みずほ　まちなか会議」を開催しました。テーマは、総務産業建設委員会が「瑞穂町の道路事情について」「買い物困難者の対策について」、厚生文教委員会が「子供たちを育む環境づくり」でした。

多くの方が参加され、それぞれの会場でいくつかのグループに分かれ、テーマについてワークショップ形式で意見交換を行いました。

皆さまからいただいた貴重なご意見をもとに、今後議会として、より良いまちづくりに向け、議論を深めてまいります。